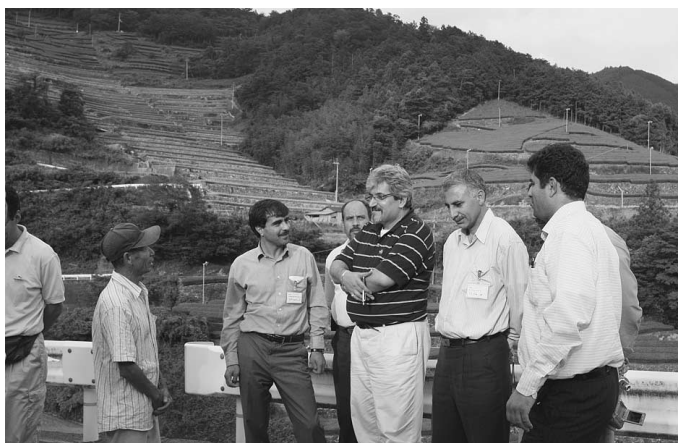


イランから技術者ら来町

農業の基盤整備について学ぼうと、イラン・ケルマン州の水路専門家が五人が九月五日から三十日まで国内各地で研修を行いました。二十一日・二十二日には町内の棚田（中村）や高瀬地区排水トンネル、吾川中学校を視察しました。

イラン・ケルマン州は二〇〇三（平成十五）年十二月に発生

中村の棚田など視察



棚田を視察した研修生ら

した大規模な地震（マグニチュード六・五）により、地域社会・経済が壊滅的な打撃を受けました。今回の研修は、灌漑システムも地震により破損したため、復興支援の一環として独立行政法

人国際協力機構（JICA）と農林水産省が受け入れたものです。

二十一日は、中村で棚田の水管理の方法や稲刈りの方法などについて、地元の井上利明さんから説明を受け、また二十二日には、高瀬地区の排水トンネルを見学した後、吾川中学校三年生と交流し、町内での研修を終了しました。

「ふれあい標識」 小学4年生が作成

仁淀川町・越知町・佐川町を通る国道33号には、冬期「凍結注意」の標識が掲示されますが、ほかの季節には取り外されます。この空き部分に小学生の作品を掲示し、交通安全、道路愛護などについてもっと身近に感じてもらおうと、国土交通省土佐国道事務所と佐川警察署が計画、地元3町の小学4年生から「ふれあい標識」を募集したところ、池川小、別府小のほか、越知・佐川町の3校、合わせて5校から計62点の応募がありました。

審査の結果、町内児童の作品5点を含む15点が優秀作品に選ばれ、寺村橋をはじめ3町の国道に掲示されています。



国道33号に掲示



片岡吏世・鈴木勢那・竹村祐樹（池川小）



伊藤夕夏・岡林佐記（池川小）

優秀作品は凍結注意の標識が掲示されるまでの間、国道に掲示され交通安全に一役買っています。

町3チーム上位入賞 県中央地区消防操法大会

十月八日、県消防学校（いの町）で第二十六回県中央地区消防操法大会が開催され、自動車ポンプの部に出場した池川分団が準優勝するなど町から参加した三チーム共上位入賞を果たしました。

この大会は、県中央地区十一市町村の消防団員が友好を深めるとともに、消防技術の向上と士気の高揚を図るため二年に一度行われています。

町からは、自動車ポンプの部に池川分団のほか長者分団が、小型ポンプの部には池川方面隊が出場しました。各チームは五カ月前から大会に備え、昼間の

仕事を終えた後の夜間練習などに励み、多いチームでは五十日以上での練習を重ね大会に臨みました。その結果、池川分団が準優勝、長者分団が三位、池川方面隊が敢闘賞とそれぞれ練習の成果を発揮し、優秀な成績を収めました。

小型ポンプの部に出場した団員は「練習はたいへんだったが、練習の成果は十分出せたと思う。特に池川分団は、練習で足を痛め、痛み止めの注射を打って出場した選手もいる中での準優勝で、優勝に匹敵するくらいの素晴らしい成績だと思う」と同僚の健闘をたたえていました。

〈自動車ポンプの部〉

優勝 いの町の方面隊
準優勝 池川分団
第三位 長者分団

〈小型ポンプの部〉

優勝 いの町の方面隊
準優勝 いの町吾北方面隊
第三位 越知町
敢闘賞 池川方面隊



池川分団



長者分団



池川方面隊



掛水彩華（別府小）



吉永茉衣（別府小）



大野菜穂（別府小）

集落見聞録

(第14回)

こじょう ざん

古城山



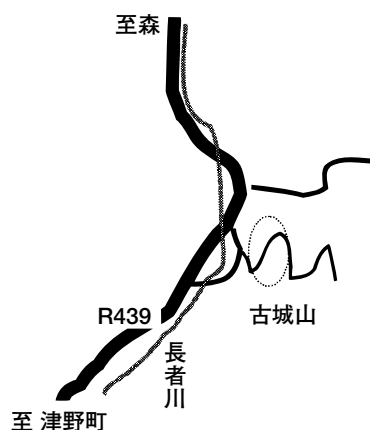
古城山

古城山は東と西の二集落からなり、仁淀総合支所から車で約10分、旧長者村では役場のあった所で、今も長者の中心地となっています。

役場長者出張所、長者保育所、長者小学校、デイサービスセンターせいらん荘、長者郵便局などが建ち並び、子どもの声が響き渡り、人の行き来も多いにぎやかな場所となっています。

「集落の北に屏風を立てかけたような山が古城山であることから、明治30年ごろ、当時の佐々木一郎村長が集落名とした。大正初年に東西の二集落に分離し現在に至る」と仁淀村史に書かれています。

9月30日現在、東古城山は34世帯、98人、西古城山は24世帯51人の集落です。



長者の中心地

大イチョウが見守る集落

大イチョウと十王堂

集落の入り口には、昭和二十八年に県の天然記念物に指定された、推定樹齢千二百年といわれるイチョウの木が立っています。

平成十六年の台風十八号で、大きな枝が折れるという被害にありました。樹高十五メートル、根本周囲十一・六メートルの堂々としたたずまいは今も健在で、秋には黄色に輝く美しい姿も見せてくれます。

イチョウの側に建っているのが十王堂（観音堂）で、約五百八十年前に建立されたといわれています。



イチョウと十王堂

長者保育所



長者保育所とせいらん荘

町内の保育所で最も園児数の多い長者保育所と、高齢者が集うデイサービスセンターせいらん荘は同じ建物にあり、年間を通じて園児と高齢者の交流が行われています。

せいらん荘

